

# RV160およびRV260ルータのプラグアンドプレイ設定

## 目的

このドキュメントの目的は、RV160およびRV260ルータでプラグアンドプレイ(PnP)およびPnPサポートを設定する方法を説明することです。

## 概要

Cisco Open Plug-n-Play(PnP)エージェントは、Cisco Small Businessデバイス用のソフトウェアアプリケーションです。デバイスの電源がオンになると、デバイスに組み込まれているOpen PnPエージェント検出プロセスは、Open PnPサーバのアドレスを検出しようとしません。Open PnPエージェントは、Dynamic Host Configuration Protocol(DHCP)、ドメインネームシステム(DNS)、シスコクラウドサービス検出などの方法を使用して、Open PnPサーバの目的のIPアドレスを取得します。Cisco Small Businessデバイスの導入プロセスが簡素化され、次の導入関連の運用タスクが自動化されます。

- デバイスの初期ネットワーク接続を確立しています。
- デバイス設定の提供
- ファームウェアイメージを配信する。

PnPサポートは、PnPサーバとして機能するFindIT 1.1を搭載したSmall Business環境で導入されました。

PnPおよびFindITに関する用語には、次のようなものがあります。

- **イメージ**は、PnP対応デバイスのファームウェア更新です。
- **構成**は、デバイスにダウンロードする構成ファイルです。コンフィギュレーションファイルには、ゲートウェイ、既知のデバイスのIPアドレス、セキュリティ設定など、デバイスがネットワークに参加するために必要なすべての情報が含まれています。
- **未請求デバイス**とは、PnPサーバにチェックインしたが、イメージまたは構成が割り当てられていないデバイスです。
- **プロビジョニング**とは、デバイスにイメージまたは設定を提供することです。

## 該当するデバイス

- RV160
- RV260

## [Software Version]

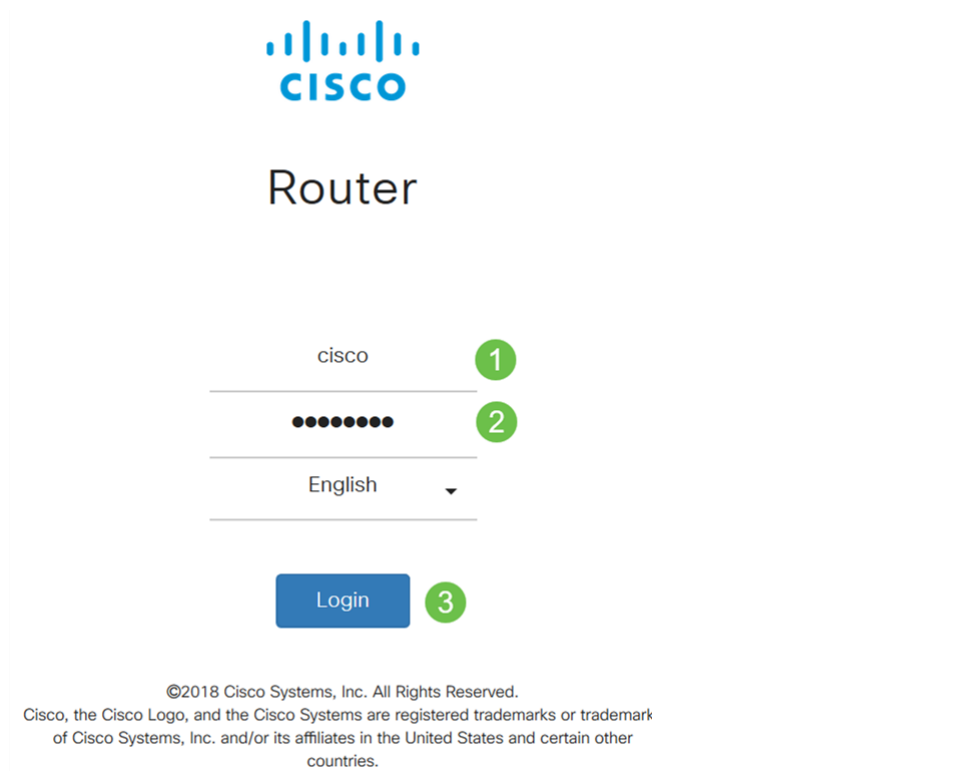
- 1.0.00.15

## PnPルータの設定

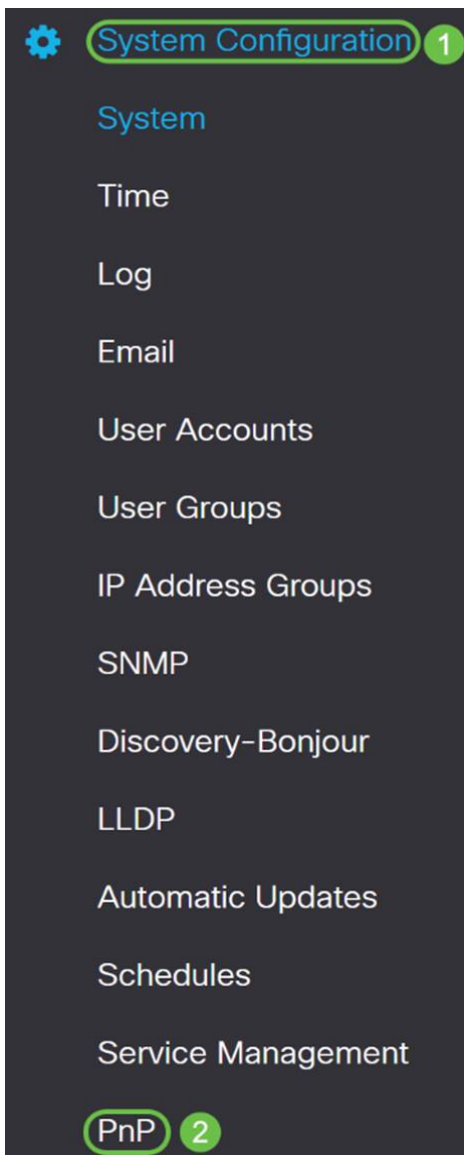
プロビジョニングを受け取るには、まずPnPサーバで「チェックイン」するようにデバイス

を設定する必要があります。PnPをサポートするようにFindIT Managerにチェックインするようにルータを設定するには、次の手順を実行します。

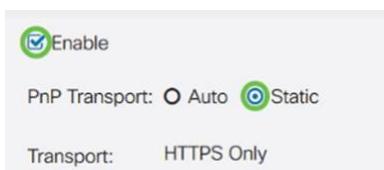
ステップ1：ルータのWeb設定ページにログインします。



ステップ2:[System Configuration] > [PnP]に移動します。



ステップ3: デフォルトでは、ルータでPnPが有効になっており、*PnP Transport*が *Auto*に設定され、PnPサーバが自動的に検出されます。この例では、[PnP Transport]オプションとして[Static]が選択されています。



注: スイッチとは異なり、RV160/RV260シリーズルータは、Hyper Text Transfer Protocol(HTTPS)暗号化PnP通信のみをサポートします。

ステップ4: FindITマネージャのIPアドレスまたは完全修飾ドメイン名(FQDN)、ポート443以外を使用している場合はポート番号を入力します。デフォルトでは、ルータは信頼できる認証局(CA)証明書を信頼します。必要に応じて、ルートCA証明書を1つだけ選択することで、特定の証明機関からの証明書のみを信頼するように選択できます。

この例の場合、

IP/FQDNはFindIT.xxxx.netです。

ポートは443。

CA証明書はすべてです。

IP/FQDN: findit. net 1  
Port: 443 2  
CA Certificate: All 3

ステップ5:[Apply]をクリックします。

PnP Apply Cancel

Enable

PnP Transport:  Auto  Static

Transport: HTTPS Only

IP/FQDN:

Port:

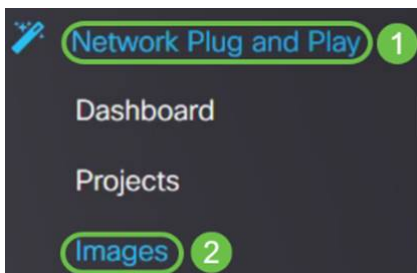
CA Certificate:

## イメージまたは設定のアップロード

低い状態またはタッチなしの状態に移行するには、最初の電源をオンにする前に、設定ファイルまたはイメージファイルをデバイスで使用できる必要があります。イメージまたは構成をFindIT ManagerにアップロードしてPnPデバイスに展開するには、次の手順を実行します。

ステップ1:FindITネットワークマネージャに接続し、ネットワークプラグアンドプレイに移動し、[Images]または[Configurations]を選択します。

この例では、[Images]が選択されています。



ステップ2:[Add]アイコンをクリックして、イメージファイルを追加します。

Images

+ 🗑️ 📄

<input type="checkbox"/>	Image Name	Size (MB)	Default Image for Product IDs
--------------------------	------------	-----------	-------------------------------

ステップ3 : ファームウェアファイルをフォルダからブラウザウィンドウにドラッグアンドドロップし、[Upload]を選択します。

Images

+ 🗑️ 📄

<input type="checkbox"/>	Image Name
--------------------------	------------

Upload File ✕

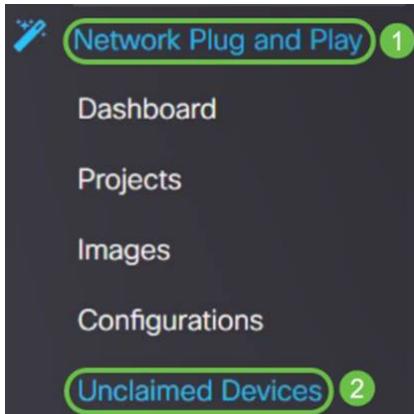
Drag and drop file here (or click to select a file from the filesystem)

Upload

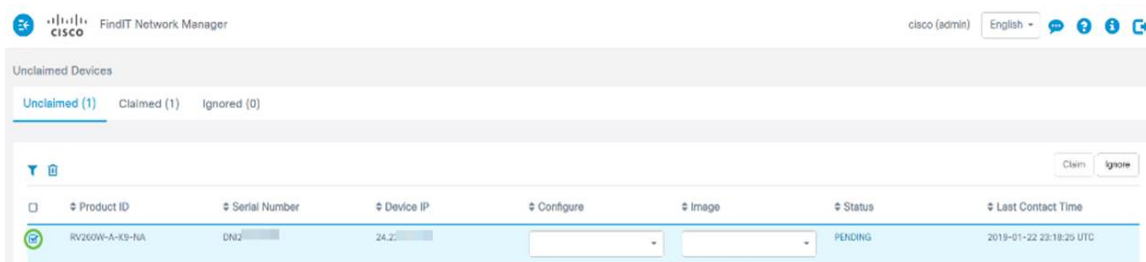
# 請求デバイス

ファームウェアまたは設定がアップロードされたら、チェックインしたデバイスを要求できます。デバイスをクレーム申請すると、FindITサーバがそのデバイスに設定またはイメージを展開できます。

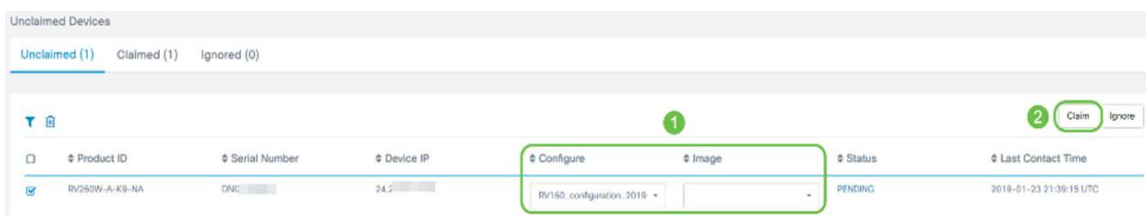
ステップ1: FindITマネージャにログインし、[Network Plug and Play] > [Unclaimed Devices]に移動します。



ステップ2: [Unclaimed devices]の下のデバイスを探し、選択します。



ステップ3: 適用する構成またはイメージを選択し、[Claim]をクリックします。この例では、コンフィギュレーションファイルが選択されています。これにより、デバイスが[Unclaimed]タブから[Claimed]タブに移動し、次にデバイスがサーバにチェックインしたときに構成が展開されます。



## PnPリダイレクトの設定

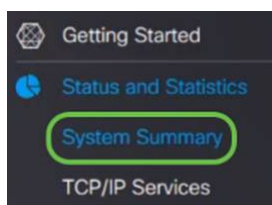
デフォルトでは、PnPはRV160/RV260ルータで有効になっており、PnPサーバを自動検出するように設定されています。これは、DHCPサーバ、DNSクエリ、またはシスコのデバイスヘルプWebサイトから発生します。

PnP自動リダイレクトを使用すると、シスコのデバイスヘルプWebサイト(<https://software.cisco.com>)を使用して、複数のネットワークのPnP対応デバイスが目的のPnPサーバに自動的に接続できます。多数のデバイスの設定とイメージをリモートで処理できます。

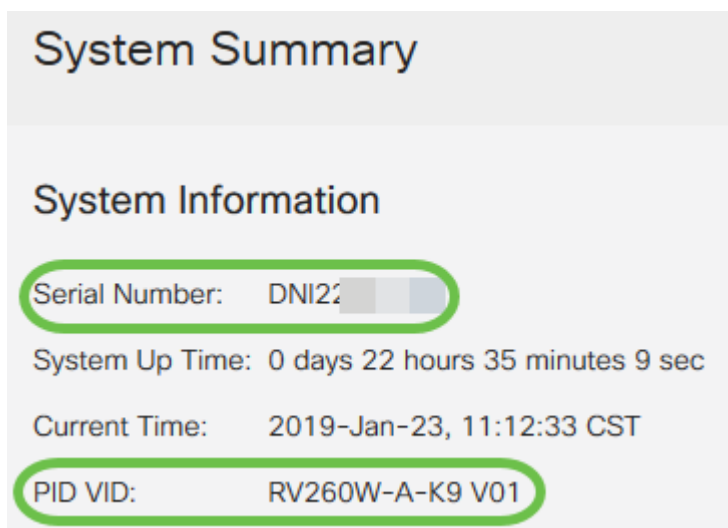
PnP自動リダイレクトを設定するには、次の手順を実行します。

ステップ1: ルータのWebユーティリティにログインします。「システム・サマリ」に移動

します。



ステップ2: システム情報からルータのシリアル番号とモデル番号(PID VID)を取得します。



ステップ3: Cisco Software CentralのWebサイト(<https://software.cisco.com>)に移動します。

ステップ4: シスコスマートアカウントを使用してログインし、*Plug and Play Connect*に移動します。



## Network Plug and Play

### Plug and Play Connect

Device management through Plug and Play Connect portal

[Learn about Network Plug and Play](#)

Training, documentation and videos

ステップ5: [Controller Profiles]に移動し、サーバに関する詳細を追加します。

[Cisco Software Central](#) > [Plug and Play Connect](#)

## Plug and Play Connect

Devices | [Controller Profiles](#) | [Network](#) | [Certificates](#)

ステップ6: [Add Profile....]をクリックします。

<input type="checkbox"/>	Profile Name	Controller Type
	<input type="text"/>	Any

ステップ7:[コントローラの種類]を[PNP SERVER]として[次へ]をクリックします。

Add Controller Profile ✕

STEP 1 Profile Type ... Conditional Steps

Choose the type of Profile to be created:

\* Controller Type:  Cancel

ステップ8:[Profile Name]、[Primary Controller] ( URLを含む ) を含む必須フィールドを入力し、セキュアソケットレイヤ(SSL)証明書をアップロードします。

Profile Settings:

\* Profile Name:

Description:

Default Profile:

\* Primary Controller:

Host Name:  Protocol:  Port:

\* SSL Certificate:

コントローラプロファイルの例は次のようになります。

## Controller Profile

Profile Name:	TEST
Description:	Test profile
Deployment Type:	onPrem
Primary Host Name:	FindIT.
Primary Protocol:	https
Primary Port:	443
Primary Certificate:	Uploaded
Controller Type:	PNP SERVER

ステップ9 : プロファイルが作成されたら、デバイスを追加できます。これを行うには、

[Devices]に移動し、[Add Devices...]をクリックします。

Devices | Controller Profiles | Network | Certificates

The screenshot shows a navigation bar with 'Devices' selected. Below it, there are two buttons: '+ Add Devices...' (highlighted with a green border) and '+ Add Software Devices...'. Underneath, there are two input fields: 'Serial Number' and 'Base PID', each with a small 'x' icon to its right.

ステップ10:[CSVファイルを使用してインポート]または[デバイス情報を手動で入力]を使用してデバイスを追加します。

注：多数のデバイスを追加する場合は、[CSVファイルを使用してインポート]オプションを使用します。

この例では、[Enter Device info manually]が選択されています。

[next] をクリックします。

Add Device(s)

The screenshot shows a progress bar with four steps: 'STEP 1 Identify Source' (active), 'STEP 2 Identify Device(s)', 'STEP 3 Review & Submit', and 'STEP 4 Results'. Below the progress bar, the 'Identify Source' section is visible. It contains the text 'Select one of the following two options to add devices:' and two radio button options: 'Import using a CSV file' and 'Enter Device info manually' (which is selected and highlighted with a green border). A 'Download Sample CSV' link is also present. At the bottom, there are 'Cancel' and 'Next' buttons.

ステップ11:[Identify Device...]をクリックします。

Add Device(s)

The screenshot shows a progress bar with two steps: 'STEP 1 Identify Source' (completed with a green checkmark) and 'STEP 2 Identify Device(s)' (active). Below the progress bar, the 'Identify Device(s)' section is visible, containing a '+ Identify Device...' button highlighted with a green border.

## Identify Devices

Enter device details by clicking Identify Device button and click Next to p

+ Identify Device...

ステップ12:[Serial Number]、[Base PID]、[Controller Profile]の情報と[Description]を入力します。

[Save] をクリックします。



## Identify Device



\* Serial Number **1**

\* Base PID **2**

Controller Profile **3**

Description **4**

Cancel

Save

ステップ13：設定を確認し、[送信]をクリックします。

Add Device(s)

STEP 1 ✓ Identify Source

STEP 2 ✓ Identify Device(s)

STEP 3 Review & Submit

STEP 4 Results

### Review & Submit

Submit action will submit following 1 newly identified device(s).

Row	Serial Number	Base PID	Certificate Serial Number	SDWAN Type	Controller	Description
1	DNI2-	RV260W-A-K9-NA	--	--	TEST	RV260W-Test

Showing 1 Record

Cancel

Back

Submit

ステップ14：デバイスの正常な追加に関する結果画面が表示されます。[Done] をクリックします。

Add Device(s)

STEP 1 ✓ Identify Source

STEP 2 ✓ Identify Device(s)

STEP 3 ✓ Review & Submit

STEP 4 Results

### Attempted to add 1 device(s)



Successfully added 1 device(s) 1

It may take a few minutes for the new devices to show up in the Devices table. Please wait a minute or two and refresh the page as needed.

Done

ステップ15：ルータがサーバにチェックインした直後。ルータは、リブート後に定期的にサーバに接続します。したがって、リダイレクトは必要ありません。これには数分かかります。

Devices | Controller Profiles | Network | Certificates

+ Add Devices... + Add Software Devices... Edit Selected... Delete Selected... Refresh							
Serial Number	Base PID	Product Group	Controller	Last Modified	Status	Actions	
<input type="text"/>	<input type="text"/>	Any	Any	Select Range	Any	Clear Filters	
<input type="checkbox"/>	DN2 RV260W-Test	RV260W-A-K9-NA	Router	TEST	2019-Jan-23, 15:43:33	Pending (Redirection)	Show Log...

Showing 1 Record

ルーターがサーバに接続すると、次の画面が表示されます。

Devices | Controller Profiles | Network | Certificates

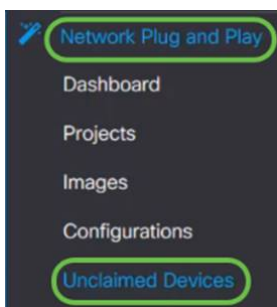
+ Add Devices... + Add Software Devices... Edit Selected... Delete Selected... Refresh							
Serial Number	Base PID	Product Group	Controller	Last Modified	Status	Actions	
<input type="text"/>	<input type="text"/>	Any	Any	Select Range	Any	Clear Filters	
<input type="checkbox"/>	DN2	RV260W-A-K9-NA	Router			Contacted	Show Log...

リダイレクトが成功すると、次の画面が表示されます。

Devices | Controller Profiles | Network | Certificates

+ Add Devices... + Add Software Devices... Edit Selected... Delete Selected... Refresh							
Serial Number	Base PID	Product Group	Controller	Last Modified	Status	Actions	
<input type="text"/>	<input type="text"/>	Any	Any	Select Range	Any	Clear Filters	
<input type="checkbox"/>	DN2	RV260W-A-K9-NA	Router			Redirect Successful	Show Log...

ステップ16：デバイスがFindIT Managerにチェックインしているかどうかを確認するには、FindIT Managerに移動します。[ネットワークプラグアンドプレイ]>[未請求デバイス]に移動します。



ステップ17：デバイスがFindITマネージャにチェックインしたことを確認します。その後、RV160またはRV260の設定またはイメージを管理できます。

Unclaimed Devices						
Unclaimed (1) Claimed (1) Ignored (0)						
Product ID	Serial Number	Device IP	Configure	Image	Status	
RV260W-A-K9-NA	DN2	24.2			PENDING	

## 結論

これで、RV160/RV260ルータでPnPが正しく設定されたはずです。

RV34xシリーズルータでPnPを設定するには、[ここをクリックします](#)。

FindITネットワーク管理の詳細については、[ここをクリックしてください](#)。

FindITとネットワークPnPの詳細については、[ここをクリックしてください](#)。

スマートアカウントをリクエストする方法の詳細については、[ここをクリックします](#)。

FindIT Network ManagerをCisco Smart Accountに登録する方法の詳細については、[ここをクリックしてください](#)。

## この記事に関連するビデオを表示...

[シスコのその他のテクニカルトークを表示するには、ここをクリックしてください](#)